

## プロ野球ドラフト 清原と対戦、バット折りたい！ 江草が阪神入団 OBの酒井はロッテに



江草仁貴投手(経済4・盈進高)の自由獲得枠での阪神入団が決まり、11月12日に生田キャンパス・総合体育館で入団会見が行われた。

多くの報道陣が集まる中「阪神は伝統があり魅力的なチーム。星野仙一監督は“熱い人”というイメージがあり、監督の強さを分けてもらって巨人を倒したい」と抱負を話し、対戦したい選手として清原和博選手の名を挙げ「対戦ではバットを折りたい」と打倒巨人を力強く宣言した。

阪神タイガースの帽子をかぶる江草投手は、最速145キロの直球とカーブ、スライダー、フォークが武器の本格派左腕。小3から野球を始め、高2から投手として本格的に練習を始めた。本学入学後は、2年次の春季リーグ戦でデビュー、今春は2部リーグで5勝無敗、MVPと最優秀投手賞を獲得し、チームの1部昇格に貢献した。

また、OBの酒井泰志投手(平14商・いすゞ自動車)が11月20日に行われたドラフト会議でロッテの7巡目に指名された。

(高橋奈津子・文2)  
〔12月15日/ニュース専修11面〕

## 全日本学生 個人で相田が学生日本一



「総合馬術」の優勝メンバー

障害飛越、馬場馬術、総合馬術の3競技で争われる全日本学生馬術大会が11月13日から17日まで、JRA馬場公苑で行われ、専大は総合馬術(調教、耐久、余力)で17年ぶりの優勝に輝き、障害飛越でも4位、3種目総合で準優勝となった。

また、総合馬術競技個人で相田一善主将(商4・宮城農高)・ミスターグリーン号が学生日本一の座をつかみ取った。「全員でフォローし合った結果の勝利」と富沢健悟監督が振り返るように、今大会はチームワークの良さが目立った。耐久審査では、エース・天羽美穂(経済4・富川高)

がまさかの大幅減点。

しかし、ここで焦らず、“お互いに助け合おう”と初心を確認しあった。最終の余力審査を4人が終え、最後は相田主将。個人・団体の優勝がかかる中、日ごろの鍛錬の成果を発揮、安定した騎乗を見せ、この大一番を減点で5に抑え、主将という重責を果たした。試合後、富沢監督は「辛かったと思うが、みんな4年間良く頑張った。相田の成績はやるべきことをやった結果だ」と部員たちの功績を称えた。

(山室 綱寛・文2)  
〔12月15日/ニュース専修11面〕

## 女子団体で2種目優勝 全日本学生フェンシング 福田(男子)、個人エペ優勝



女子フルーレ団体の優勝メンバー

全日本学生フェンシング選手権が11月6日から10日まで、京都府・大山崎町体育館で行われ、男女ともに見事な活躍を見せた。

男子は団体サーブルで3位、同フルーレで2位。個人では福田佑輔(経済3・東亜学園高)がフルーレで3位、エペで優勝。山本幸治主将(商4・武生商高)がサーブルで優勝した。

女子は団体でフルーレ、サーブルともに優勝を飾り、個人ではサーブルで小川智代(経営4・藤村女子高)が2位となった。

試合全体を振り返って「今回は団体で一人ひとりのプレーが出来なかった。チームワークを大切に次につなげたい」と語った。

大和田智子女子部監督は「今大会、サーブルが2年連続優勝し、日本学生王座選手権でも優勝出来たのは4年次生が中心になって頑張った結果。フルーレは若いチームを酒井彰子(経済4・福島商高)がまとめてくれ、11年ぶりに優勝出来た。小川選手はアジア大会でも活躍するなど、今後が楽しみです」と部員たちを称えた。男女共に素晴らしい成果が出ている。これからの伸びに期待したい。

(佐山 美貴・文2)

## 団体で男女とも2位 全日本・サーブル 小川智代が個人2位

全日本フェンシング選手権が11月28日から12月1日まで静岡県伊豆市立中学校体育館で行われ、団体は男女共サーブルで2位。個人は女子サーブルで小川智代が2位。男子はサーブルで山本幸治主将が3位となったほか、フルーレで福田佑輔が7位と検討した。

[12月15日/ニュース専修11面]